

実り豊かな生活文化都市



中央市

議会だより

2022
August
Vol. 66

玉穂生涯学習館

道の駅とよみで食べられるシルクソフト

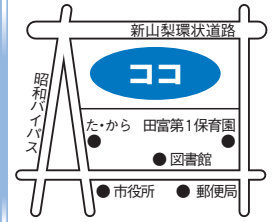
いろいろな涼で
夏をのりきろう!!

- P 2 特集：総合防災公園
- P 4 6月定例会で決まったこと
- P 8 5月臨時会で決まったこと
- P 9 審議結果

- P10 市長の所信表明
- P11 一般質問に8議員
- P15 委員会レポート
- P18 市民の談話室・編集後記

シルクの里公園

総合防災公園



遊びの広場

広い遊歩道を中心に、東西に様々な遊具が設置される芝生のエリアです。歩道西側には水遊びのできる親水スポットも設置され、様々な年代の方々の憩いの場となる予定です。
災害時には… 広場東側エリアに設置されているベンチがかまどとして利用できるようになり、親水スポットは臨時の水源としての利用が想定されています。

関連工事

遊具・植栽等工事（9工区）

期間：令和4年3月～令和4年9月頃 予定

北側エリア舗装・植栽等工事（10工区）

期間：令和4年10月頃～令和5年6月頃 予定



公園北側から見た親水スポット
付近のようす(イメージ)

スポーツ広場

令和4年4月から一足先に利用可能になり、バスケットボールの3×3やフットサル、テニスなどが行えます。利用予約は教育委員会生涯教育課へ。

災害時には… 一時避難場所、応急仮設住宅建設地としての利用が想定されています。

リニア中央新幹線

公園の中をリニア中央新幹線の高架が横断します。

市民体育館

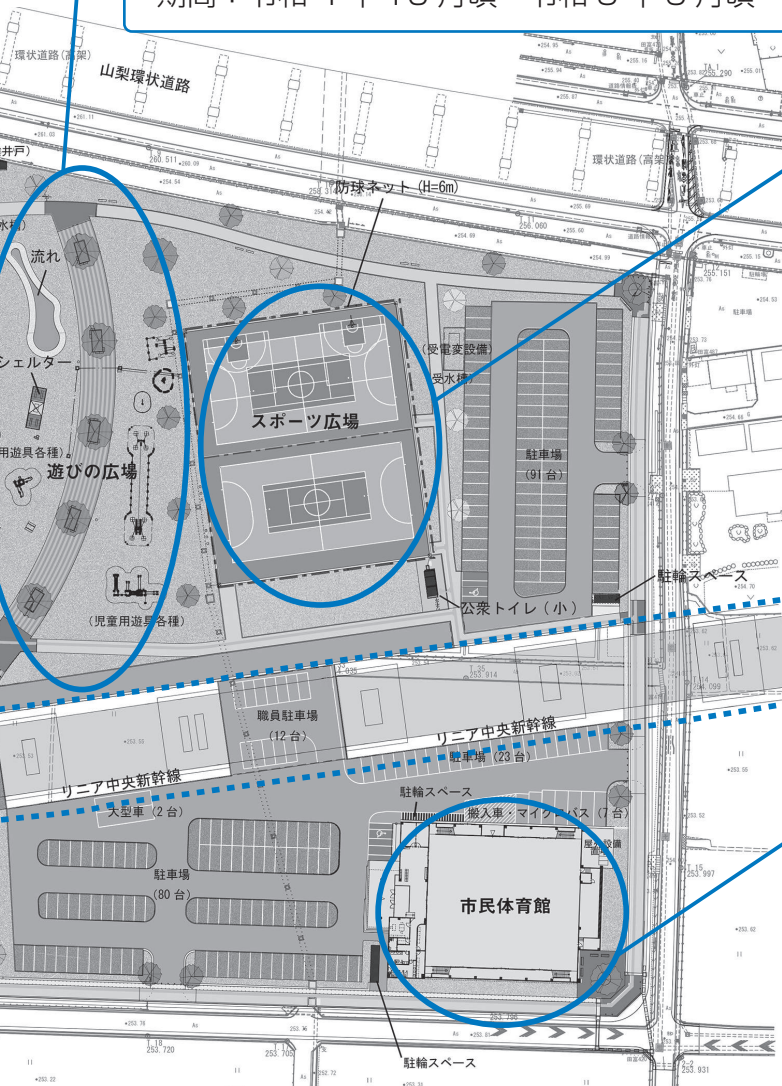
公園の南東には新しい市民体育館が建設される予定です。

災害時には… 食料物資等集積所としての利用が想定されています。

関連工事

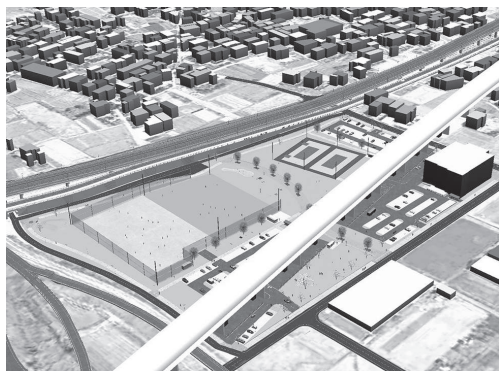
市民体育館建設工事

期間：令和6年度以降 予定



特集

完成まちどおしい



リニア中央新幹線が敷地内を横断する総合防災公園(イメージ)

令和4年6月定例会の市長あいさつの中で、令和4年4月から総合防災公園の一部「スポーツ広場」の一般開放が始まったことが報告されました。本定例会において都市公園整備事業の補正予算案も提出され、産業土木常任委員会において説明を受け審査しました。

リニア新幹線関連部分と市民体育館部分を除くほとんどの工事が今年度実施される予定ということで、今回は総合防災公園の各エリアの概要や工事予定を紹介します。

多目的広場

西側にサッカーエリア、東側に芝生エリアを整備し、様々な用途で利用できます。

災害時には… 緊急輸送拠点として、ヘリコプターの発着場のほか、応急仮設住宅建設地としての利用が想定されています。

関連工事

グラウンド内舗装工事(12工区)

期間：令和4年10月頃～令和5年6月頃 予定

桜の広場

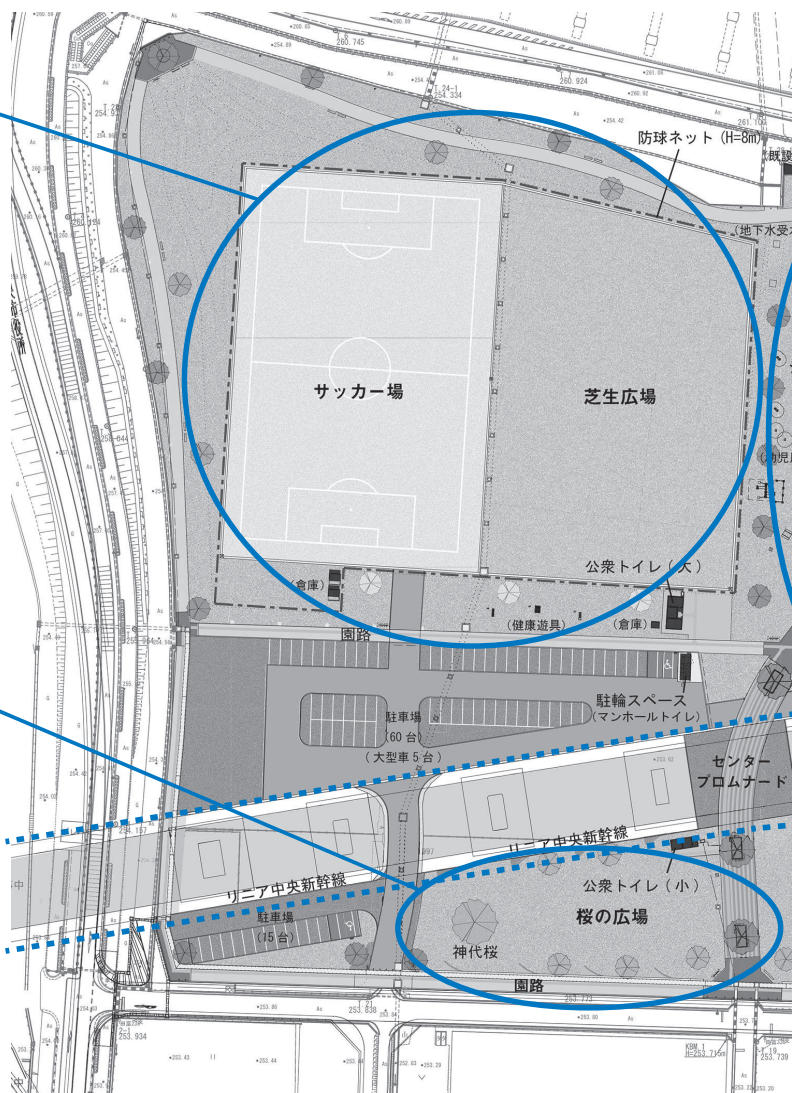
神代桜をメインにたくさんの桜の木に囲まれた芝生の広場。

災害時には… 物資の荷捌きスペースとしての利用が想定されています。

関連工事

南側エリア舗装・植栽等工事(11工区)

期間：令和4年10月頃～令和5年6月頃 予定



令和4年度 一般会計補正予算 (第1号から第2号)

総額

10億4,608万円増額

143億4,023万円に

(1万円未満は四捨五入しています)

6月定例会は6月7日から6月21日までの15日間の会期で開催され、市長提案の条例関係7案件、補正予算9案件、その他3案件を審議しました。

また、予算繰越など、報告案件3件が報告されました。

本年度当初予算は骨格予算として編成していたため、今回の補正は、政策的経費や臨時的経費を計上した、肉付け予算となっています。

主な内容

○総務費

財産総合管理費 9,611万円

・旧豊富庁舎内への放課後児童クラブ移転等に伴い庁舎の改修を行います。

行政事務電算化推進事業 851万円

○民生費

保育対策総合支援事業 1,166万円

・公立保育園の廊下やフローリングなど、経年劣化による危険箇所の補修を行います。

共通管理費(保育園) 431万円

・おむつ持ち帰り廃止の試行のための備品の購入や、保育園の防犯対策強化のため防犯カメラの設置を行います。

児童館施設整備事業(玉穂中央・北部児童館解体事業) 4,832万円

子ども医療費助成金支給事業 1,028万円

・子どもの医療費の支給対象年齢を18歳まで拡大します。

住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 1億2,237万円

生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業 1億4,670万円

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 4,043万円

○衛生費

動物管理費(猫の不妊・去勢手術助成事業) 490万円

・猫の殺処分を限りなく無くすため、県の事業と連携し、猫の不妊・去勢手術の費用の一部を助成します。



不妊手術後の猫

母子健診事業(幼児の視力検査機器導入費) 130万円

○農林水産業費

土地改良施設等基盤整備事業 5,006万円

○商工費

中央市地域公共交通事業者支援事業 675万円

・新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、利用客の減少と原油価格高騰の影響を受けている公共交通事業者に対して支援を行います。

○土木費

道路橋梁維持事業 9,087万円

公園管理費(成島2号公園改修工事費用等) 5,906万円

・リニア中央新幹線整備に伴う成島2号公園の改修工事と、市内各公園の遊具等の適正管理を行います。

都市公園建設事業(総合防災公園整備) 1億5,299万円

○教育費

防犯カメラ整備事業(三村小、玉穂南小、田富南小) 384万円

防犯カメラ整備事業(玉穂中) 121万円

・学校内への不審者の侵入、事件・事故の抑止力向上を目的に学校の入り口等に防犯カメラを設置します。

分散学習環境整備事業(三村小、玉穂南小、田富南小) 341万円

学校長寿命化等推進事業(田富小仮設校舎設計業務等) 1,583万円

玉穂生涯学習館施設整備事業 684万円

特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
後期高齢者医療特別会計	5万円	3億8,506万円
介護保険特別会計	131万円	21億1,981万円
田富よし原処理センター事業特別会計	1,270万円	8,676万円

企業会計補正予算

収益的収入および支出				資本的収入および支出		
簡 易 水 道 事 業 会 計		補正額	総 額		補正額	総 額
	収入	0万円	2億824万円	収入	2,530万円	4,530万円
	支出	33万円	1億8,384万円	支出	2,844万円	1億3,993万円
公共下水道 事 業 会 計		補正額	総 額		補正額	総 額
	収入	964万円	7億9,825万円	収入	1,764万円	6億9,701万円
	支出	964万円	7億9,825万円	支出	1,950万円	8億973万円
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計		補正額	総 額		補正額	総 額
	収入	0万円	2億3,440万円	収入	938万円	1億2,784万円
	支出	0万円	2億3,440万円	支出	938万円	1億6,086万円
上 水 道 事 業 会 計		補正額	総 額		補正額	総 額
	収入	0万円	2億8,971万円	収入	8,467万円	8,467万円
	支出	0万円	2億8,195万円	支出	1億7,134万円	2億8,244万円

報 告 案 件

○令和3年度予算で計上された事業のうち、32の事業について 令和4年度へ繰越をすることが報告されました。

(一般会計予算繰越明許・一般会計予算事故繰越・一般会計予算継続費の通次繰越)

■繰越する主な事業は以下のとおりです。

・住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	…………	2億7,838万円
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	…………	1億3,797万円
・田富玉穂大津線道路整備事業	…………	1億189万円
・玉穂中央通り線整備事業	…………	3億5,698万円
・都市公園建設事業	…………	1億6,681万円

主な条例案件

●市職員が育児休業を取得しやすい環境を整備します。

【中央市職員の育児休業等に関する条例中改正の件（施行日 令和4年7月1日）】

主な改正内容

- ・会計年度任用職員の育児休業および育児時間休業の取得要件を緩和するもの
- ・職員が育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置等を義務付けるもの

●保育所等の書面作成・保存における業務負担の軽減を図ります。

【中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例中改正の件（施行日 公布の日）】

【中央市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件（施行日 公布の日）】

主な改正内容

- ・保育所等の業務負担軽減等を図るため、書面等の作成、保存等について電磁的方法による対応も可能とするもの

●子ども医療費の支給対象年齢を18歳まで引き上げます。

【中央市子ども医療費助成金支給条例中改正の件（施行日 令和4年10月1日）】

主な改正内容

- ・支給対象年齢を15歳から18歳に引き上げるもの

上記条例の改正に鑑み、ひとり親家庭の児童および重度心身障がい児の入院時食事療養費の支給対象年齢も18歳に引き上げられます。

【中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正の件（施行日 令和4年10月1日）】

【中央市重度心身障害者医療費助成条例中改正の件（施行日 令和4年10月1日）】

その他の案件

○動産取得の件

- ◆基幹系業務システムの最適化を図るための情報処理システム機器等の購入

取得する動産：サーバー機器、二要素認証機器、ネットワーク機器、ソフトウェア 一式
契約の相手方：株式会社 電算

契 約 金 額：27,023,700円

第2回臨時会

第2回臨時会が5月10日に招集され、市長提案の条例改正の専決処分2件、補正予算の専決処分2件、人事案件3件を審議しました。また、5月16日の任期満了に伴う中央市選挙管理委員及び補充員の選挙が行われました。

主な専決処分(条例改正)

令和4年4月1日から条例を施行するため、令和4年3月31日付で専決処分されました。

○国民健康保険税の基礎課税額の限度額が引き上がりました。

【中央市国民健康保険税条例中改正の件】

主な改正内容	旧	新
国民健康保険税に係る基礎課税額の課税限度額	63万円	65万円
後期高齢者支援均等課税額の課税限度額	19万円	20万円

※国民健康保険税の減額に係る課税限度額についても同様とするもの

主な専決処分(補正予算)

○令和3年度 一般会計補正予算(第12号)

1億8,830万円を増額 総額184億2,925万円に

主な内容 ○商 工 費 “心”あるまちへ活性化キャンペーン商品券事業 ▲2,568万円
○諸支出金 公共施設等整備基金費 2億円

人 事

●中央市監査委員の選任について同意を求める件

監査委員2名の任期が令和4年5月16日をもって満了することに伴い、新たな委員の選任について同意しました。

佐藤 皖 氏(上三條) 中楯 英徳 氏(大鳥居)

●中央市公平委員会委員の選任について同意を求める件

公平委員会委員3名の任期が令和4年5月16日をもって満了することに伴い、新たな委員の選任について同意しました。

田中 公夫 氏(大田和) 渡邊 加代子 氏(成島) 込山 ひとみ 氏(高部)

●中央市教育委員会委員の任命について同意を求める件

教育委員会委員1名の任期が令和4年5月16日をもって満了することに伴い、新たな委員の任命について同意しました。

石原 英一 氏(極楽寺)

選 挙

●中央市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

・選挙管理委員 橋戸 昭三 氏(東花輪) 河崎 博也 氏(藤巻)
松村みどり 氏(極楽寺) 土橋 正樹 氏(大鳥居)

・補 充 員 飯室 俊一 氏(西花輪) 鮎川 英哲 氏(布施)
鷹野 啓子 氏(下三條) 山口 保孝 氏(関原)

臨時会・定例会審議結果

○賛成 ×反対 （小池 章治 議長を除く）

種別	案 件 名	副議長	フォーラム中央								公明党		市民クラブ		日本共産党	無所属	結 果	
		斉藤雅浩	田中一臣	福田清美	井口貢	伊藤公夫	名執義高	金丸俊明	山本六男	笹本昇	薬袋正	田中輝美	田中清	小池満男	江間政雄	木下友貴		中沢美恵
第2回臨時会																		
専決 処分	税条例等中改正の件																	承認
	国民健康保険税条例中改正の件																	
	令和3年度一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）																	
人事	監査委員の選任について同意を求める件																	同意
	公平委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	教育委員会委員の任命について同意を求める件																	
第2回定例会																		
条例 案件	職員の育児休業等に関する条例中改正の件																	可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例中改正の件																	
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件																	
	子ども医療費助成金支給条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正の件																	
	重度心身障害者医療費助成条例中改正の件																	
	障害者施策推進協議会条例中改正の件																	
補正 予算	一般会計補正予算(第1号)																	可決
	一般会計補正予算(第2号)																	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																	
	介護保険特別会計補正予算(第1号)																	
	田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	簡易水道事業会計補正予算(第1号)																	
	公共下水道事業会計補正予算(第1号)																	
	農業集落排水事業会計補正予算(第1号)																	
	上水道事業会計補正予算(第1号)																	
その他	動産取得の件																	可決
	市道路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	市道路線廃止の件																	

3つの重点事項を優先に

市長の

所信表明

6月
定例会



政治信条である『市政は市民一人ひとりが主人公』を基本として、市民の皆様へ寄り添い、大きな耳と広い視野を持って市政運営に臨んで参ります。

市民の皆様健康・暮らしを守る

新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、市民の皆様健康と暮らしを守る

り、感染拡大によって大きな影響を受けている地域経済の立て直しを、国・県の経済対策と効果的に連携して取り組んで参ります。

子ども医療費を
18歳まで無料に

長引くコロナ禍における、子育て世帯への経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の助成対象を18歳まで拡大し、子どもたちの健やかな成長を支えます。

希望するすべての子へ、質の高い保育を

保育施設の環境改善と保育士の待遇改善を図り、希望するすべてのご家庭が利用しやすい、働きやすい

保育環境を作るとともに、保育士不足を解消し、子育て世帯の保育ニーズに対応して参ります。

主要政策6項目

『子育ての楽しさを実感してほしい』『未来へ羽ばたく子どもたちを応援したい』『年を重ねても安心して健やかに暮らしてもらいたい』『災害に強いまちをつくりたい』『魅力あるまちを感じてほしい』『持続可能で市民ニーズに即応できる市役所へ』として、主要政策6項目を掲げ、これらに関連する事業についても、社会情勢の変化等を踏まえながら、優先順位をつけながら順次取り組みを進めて参ります。

中央市の将来に向けて

これから与えられた任期の中で、これらの施策を順次展開して参りますが、地方の財政状況は依然厳しい状況が続いており、我が中

央市も例外ではありません。最小限の経費で、市民の皆様にとつて最大限の効果が得られるよう、これまで以上に徹底した事業の峻別、見直しを図るとともに、職員一人ひとりがコスト意識を持って市政運営に臨んで参ります。

今後とも、常に市民の皆様、事業者の皆様の声に耳を傾けるとともに、丁寧な説明を重ね、理解と信頼を得ながら、様々な施策を展開して参ります。

今、この大きな時代の転換期にあつて、私自身が勇氣をもつて未来に踏み出す、その取組の先頭に立つという決意をもち、中央市の将来に向けて、積極果敢に挑み、皆様から信頼される市政を展開して参りますので、議員各位並びに市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。市長就任に際しての所信表明とさせていただきます。

Q

街頭犯罪抑止対策について

A 関係機関と連携を密にし、取り組みを強化していく。

金丸 俊明 議員

金丸議員：街頭犯罪抑止対策は。

危機管理課長：平成21年度から職員による青色防犯パトロールや安全・安心指導員による平日午後

のパトロールを実施。また、消防団、消防協力会、

防犯ジョギングパトロール登録者や市内の郵便局にご協力をいただき、年間を通じて犯罪抑止活動

等を実施している。「効果」の部分については、具体的な効果を示すのは難しいが、各活動による視覚的な犯罪抑止効果はあると考えている。今後、地域住民の皆さまや警察、民間企業など関係機関と連携を密にし、「安心・安全なまちづくり」に向け、取り組みを強化していく。

金丸議員：通学路に防犯

カメラの設置を。

教育総務課長：防犯カメラを通学路に設置する場合、誰が設置をして、誰が管理をするのか。また、プライバシー対策などの管理運用に関するルールを決め、設置場所の選定や設置する場合にその設置場所の管理者から許可を得なければならぬ。さらに、警察を

はじめ防犯協会、交通安全協会、自治会、学校関係者や地域住民の皆さま等へ説明をする中で合意形成をとることも必要となる。今後は、防犯カメラの設置や運用の在り方について、設置の必要性や緊急性などを総合的に検討し、判断していく。

【関連質問】

名執義高 議員

田中 清 議員

田中

Q 带状疱疹を未然に防ぐために

A 国の動向を注視していきたい

田中議員：带状疱疹を未然に防ぐために。

健康増進課長：带状疱疹ワクチンは、現在、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類が承認されており、特に不活化ワクチンは、2回の接種により90%の予防効果と9年以上という持続性がある反面、1回接種が約2万円以上と高額であり、費用の一部を助

成している自治体もある。国では、带状疱疹ワクチンの効果が認められるとしているが、国外データが多く、国内データの収集に力を入れ、有効性、安全性、費用対効果などに関するデータを基に、定期予防の接種化を検討している。まずは国の動向を注視していく。

田中議員：就農支援事業

産業課長：就農支援策は、国や県の事業を紹介し対応している。特に、家族農業経営について、経営の規模拡大や農業経営の多様化・複合化などの取り組みによる経営改善を促し、農業者の自主的な申請に基づき、地域の関係機関と協力しながら、農業の担い手を育成・確保する仕組みを育成・確保する仕組

みとして定着普及している「認定農業者制度の活用」を推進。また、中央市農業振興公社において、就農相談、営農相談、営農指導等の支援を充実させ、取り組んでいる。今後関係機関と連携して、本市の基幹産業でもある農業の活性化に向け、取り組んでいく。

【関連質問】

福田清美 議員

所信表明について

**市民の皆さまから信頼される
市役所を創りたい**

山本 六男 議員

山本議員：所信表明について。

市長：中央市の行政運営の最高責任者として、職員時代のさまざまな知見を活かしつつ、市民の皆

任時の訓示及び毎月開催の庁議、管理職会議などの機会を捉えて、全職員に周知徹底を図っていく。また、施策を円滑に進めるうえで必要不可欠な「報告」「連絡」「相談」を適切に行うよう全職員に対して徹底し、組織の横のつながりを強化し、私と職員間の情報共有が適切に図られるよう、体制づくりに努めていく。

くりを早急に構築する。職員の士気となり、市民の皆々から信頼される市役所を創りたい。

山本議員：自治会要望の対応について。

総務課長：提出された要望書は、総務課で受付、庁内共通の要望書台帳に登録し、各所管課へ引き継ぐ。その後、所管課ごとに台帳で管理し、要望に

【関連質問】

笹本 昇 議員

小池議員：随意契約及び指名競争入札の廃止について。

いて。

市長：随意契約・指名競争入札ともに、各法令及び本市財務規則を遵守し、適正に執行しているため、

命題である。現在、事業関係課で構成する土木工事調整会議において工事

小池議員：住宅街の環境整備について。

また、家屋については管理していきたい意向である。所有者には、周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、また、空き家等が引き起こす問題や影響について正しい認識をもってもらうよう随時助言し、適正な管理をしていただくよう引き続き指導していく。

随意契約及び指名競争入札の廃止について

現段階では廃止の必要はないと考える

小池 満男 議員

の予算を効率かつ効果的に執行する観点からも、公共工事の適正な執行は

に執行する観点からも、公共工事の適正な執行に努めていく。

が伐採された状況である。

【関連質問】

齊藤雅浩 議員

Q 市政運営への基本姿勢について

A 職員一丸となつて、行政運営に取り組みたい

田中 輝美 議員

田中議員：市政運営への基本姿勢について。

市長：私の基本姿勢である「市民の声に即応できる行政運営を実現するために市民の皆さまの声に

を決定し、取り組む。市民生活に直接影響のある施策は、スピード感を持ちつつ優先順位を高く設定し、取り組む。最少限の経費で市民の皆さまにとつて最大限の効果が得られるよう、職員一丸となつて、行政運営に取り組む。

田中議員：地方創生臨時交付金の活用について。

政策秘書課長：「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」として交付される地方創生臨時交付金は、山梨県的生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業に市独自で1世帯1万5千円を上乗せし支給する事業、また、公立保育園の副食費及び公立小中学校の給食費の物価高騰対応分として活用する予定である。残りの交付

金と令和3年度補正予算で内閣府において本省繰越した分を併せて、「感染防止策の徹底に向けた対応」や「感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援に向けた対応」など地域の実情に応じた感染防止策等の事業に活用していく。

木下友貴 議員

【関連質問】

木下 友貴 議員

Q 新型コロナウイルス感染症対策について

A ワクチン接種を推奨する

木下議員：新型コロナウイルス感染症対策について。

市長：新型コロナウイルスの感染状況は、未だ油断はできない状況であり、ワクチン接種やPCR検査は必要な感染対策の一つと考える。厚生労働省では、重症化予防を目的に4回目の接種を決定し、本市においても準備を進め、来月7月より集団接

種及び個別接種を開始する。PCR検査は、現在、医師の診断により必要と判断した場合実施しているが、市内の限られた医師に多くの業務にご協力

木下議員：学校の給食費について。

は、学校給食を受ける児童・生徒の保護者の負担と規定されている。また、経済

いただいていることを踏まえ、最近の感染者や病床使用率の減少などの状況から、現段階で最も有効とされる感染対策として、ワクチン接種を推奨する。

教育総務課長：給食費は小中学校の保護者にご負担いただいているが、その内訳は賄い材料費分である。学校給食法では、学校給食実施に必要な施設や設備に要する経費、運営に関する経費は、学校設置者の負担、それ以外の学校給食に要する経費

は、学校給食を受ける児童・生徒の保護者の負担と規定されている。また、経済生活保護や就学援助制度にあり費用の援助を行って恒久的な軽減・無償化については、現段階においては考えていない。

【関連質問】

名執義高 議員

総務教育常任委員会

審査ポイント

学校防犯カメラについて

中央市職員の育児休業等に関する条例中改正の件

〈総務課〉

問：会計年度任用職員の産前・産後の日数は、どの程度措置をとっているか。

答：職員と同じで、産前・産後、6週・8週でとっている。

一般会計補正予算（第1号）

〈教育総務課〉

問：防犯カメラ整備事業で、各校への設置台数と録画期間は、

答：各校4個から5個設置する。録画期間は1週間程度で、何もなければ上書きされる。

問：防犯カメラの監視は誰がするの。

答：教職員室にモニターがあり、監視ができる。また、警備会社も確認ができ、教職員室に誰もいない場合、または休日においては警備会社の警備システムと連携している。カメラと警備システムの連携の中で、不審

者が出てくればすぐに対応することになっている。

〈管財課〉

問：公園管理費の適正化事業で、遊具を撤去するところもたくさんある。撤去後の増設は考えていないのか。

答：全ての遊具を安全な状態のまま管理していくことが非常に困難。積極的に遊具の更新をしていく「基幹公園」、ダウンサイジングをしながら考えていく「優先公園」、破損等で使用できなくなった遊具等を撤去する「適正化公園」の3つに分類して事業を進めていく。



厚生常任委員会

審査ポイント

視力検査用スポートビジョンスクリーナー導入について

中央市子ども医療費助成金支給条例中改正の件

〈子育て支援課〉

問：助成対象が18歳まで拡大されたが、18歳までならだれでもいいのか。

答：要件があり、出生の日から18歳に達する日以降の最初の3月31日までということ、保護者に監護される者となる。

問：入院や通院に係らず、食事等含めて全部支給ということか。

答：入院も食事も含めて支給となる。

一般会計補正予算（第1号）

〈市民環境課〉

問：猫の不妊・去勢手術助成事業対象者で、市民の方が野良猫を捕まえて、不妊なり去勢手術をした場合、誰でも助成をいただけるのか。

答：市民の方であれば、助成は可能である。

〈健康増進課〉

問：スポートビジョンスクリーナー購入について、3歳児健診をするときにこの機械を使って全員の検査を行うのか。

答：3歳児健診の対象となっている子どもに対して導入する。現在、この機械を市内の眼科のご厚意によって借用しているが、日程の調整がつかず、機器の借用が出来ない場合は、発見の件数に大きな違いが生じている。

後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

〈保険課〉

問：人間ドックの補助金は、75歳までということだが、対象者を拡大する考えはないのか。

答：現状、77歳と80歳の方に人間ドックの補助をしている。75歳を過ぎれば何らかの形で医者にかかっている方が多いのではないかと判断から、人間ドックはそれほど必要ではないと考えているが、今後、他課と協議し、検討したい。

産業土木常任委員会

審査ポイント

総合防災公園整備事業について

一般会計補正予算（第1号）

〈建設課〉

問：農業基盤整備の補助事業で大鳥居地区の農地を整備するが、地権者は何人で、工期は。

答：地権者は10人前後。工期は今年度の完成を目指して、来年度貸し付けていく計画である。

〈都市計画課〉

問：総合防災公園整備事業において、環状道路下の拡幅は、どのくらいの幅にするのか。また、電柱は何本移設するのか。

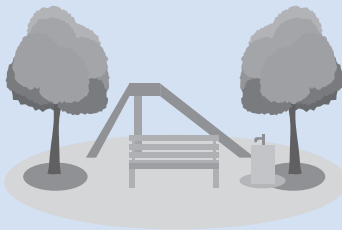
答：環状道路部分の交差部の工事に関しては、昨年度に公園の東側道路の拡幅工事を行った。それを北側にのぼり、環状道路に出る部分が絞られており、そのまま環状道路を交差して山之神に抜けるまでを7.5メートルの幅員で県の道路施工承認を取りながら施工していく。電柱移設に関しては、1本を移設する予定。なお、移転補償費には、電線地中化の工事費も含まれる。

上水道事業会計補正予算（第1号）

〈水道課〉

問：リバーサイド地区の配水場の基本計画は老朽化に伴う耐震化ということだが、こういった動力源で、防災強化するのか。

答：ハザードマップを考慮しながら、動力等を加味した高さに置き、洪水が起きても活動ができ、給水ができるよう基本設計でまとめていきたい。基本的な動力源は電力しかないため、発電機の導入も確保し、また、再生可能エネルギーも検討しながら、いざというときに対応ができるように基本設計していきたい。



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

第15回新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を行いました。今回は、新型コロナウイルススワクチン接種の進捗状況と本市の感染状況、市の今後の感染症対策について、また、“心あるまちへ！活性化キャンペーンの結果報告について市当局より説明を受けました。

ワクチン接種の進捗状況については、3回目接種や5歳から11歳までの子どもへのワクチン接種状況および4回目接種に向けた市の体制等。本市の感染状況については、5月から6月の市内の感染状況と学校や保育園での感染状況等。今後の感染症対策については、県の協力要請に基づくマスク着用や施設の利用制限に関する市での対応と、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の今後の活用の方角性等の説明を受けました。

“心あるまちへ！活性化キャンペーンについては、第2弾商品券事業のアンケート結果や第

3弾PayPay事業の決済額・還元額等について報告を受けました。

委員からは、ワクチン接種後の深刻な副反応の事例の有無や、公共施設のガイドラインの見直しについて、PayPay事業前後の検証の必要性についてなど、多くの質問や意見が出ました。

今後も感染状況等を注視しながら、市の感染症対策や経済対策等について報告を求め、協議し、委員会として意見提言等を行っていきます。



PayPay 事業についてはさらなる検証が必要

議会改革推進委員会

議会改革推進委員会では、議会の責任や役割を果たすため、必要とする議会改革への取組みを協議しています。

今回は主に、これまでも検討を行ってきた議員定数について協議し、活発な意見交換を経て、議会改革推進委員会としての結論を出すに至りました。委員からは、時代の流れに即して削減すべきとの意見もありましたが、議員が減ることにより、議会と市民とのつながりが減り、関心がなくなることで議員のなり手が減ってしまうという悪循環になるのでは等の削減に反対する意見が挙がり、議会改革推進委員会においては「議員定数は削減せず、現行の18人のまま」という結論となり、議員協議会で諮ることとなりました。

その後、議員協議会において、議会改革推進委員会委員長より、これまでの経緯と委員会が出た意見・結論について説明し、協議を行う中で、様々な意見がありましたが、多数決により、現行の18人のまま、との結論に至りました。



全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より表彰されました。
各議員におかれましては、市政発展に尽くされ、その功績が認められたものです。

●全国市議会議長会表彰

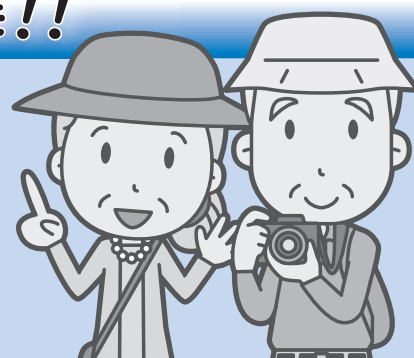
議員15年表彰	名執 義高 議員
	伊藤 公夫 議員
議員25年表彰	田中 一臣 議員

●山梨県市議会議長会表彰

議員15年表彰	名執 義高 議員
	伊藤 公夫 議員
議員22年表彰	田中 一臣 議員

表紙写真を大募集!!

議会だよりでは、皆さまから表紙の写真を募集しています！
今年度のテーマは
「中央市のおすすめスポット」です。
奮ってご応募ください。



※詳細は
HP(https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai_info/4245.html)

をご覧ください。

市民の談話室



西花輪第一
鈴木 進 さん

失ったものと得た幸福

1980年に田富町へ転入して数年後、アイメッセ付近の乗馬クラブに入部し、週末練習を約30年間楽しんできました。2000年にはニュージーランド、クライストチャーチ郊外の牧場に1週間の乗馬合宿をしました。大草原の丘陵を疾駆、少年の頃からの夢を達成した瞬間でした。

2010年に退職数年後、乗馬クラブの厩舎に架けた梯子と共に転落して入院、数か月のリハビリがあり、その影響で片方の聴力を失いました。今は齢を重ね怪我のリスクがある趣味は止めて、中央市弓道部に入部しました。満開の桜と鶯、蝉時雨、紅葉吹雪と季節の移ろいの風情がある道場で弓を引く時、「此处が最高」と実感します。先輩の熱心なご指導の下、真摯に練習に励み、2018年には県体育祭り市の部で団体優勝に貢献できました。

多くの弓友に恵まれ、私にとって最適なスポーツに出会えて、今は充実したシニアライフを過ごせて幸福と思っています。



藤巻
岡田 哲人 さん

中央市への期待

今後中部横断道の全面開通や、リニアの開通によって中央市も大きく変化していくと期待しています。中央市もそんな状況にのり発展していったほしいのですが、開発が進むと自然の豊かさ等は、取り戻すのは難しくなります。企業任せの誘致ではなく、農業振興・商業・住宅地エリア等を計画的に進め、自然も守りながら特長ある、豊かな市になっていく事を望みます。市民の中にも野菜を生産するだけでなく、企業とコラボして加工品を作ったり、インスタやクラウドファンディングを活用して新しい農家の道を開拓した人、東花輪第二自治会のように地区防災計画を作成し災害時の電動トイレの設置に尽力した人等、頑張っている人にもスポットをあてて、中央市全体で共有できる情報体制も必要と思います。

今後の中央市の発展には市民の協力が不可欠であり、自らもできる事から協力していきたいと思っています。

編集後記

長引くコロナ禍での経済活動の停滞はあらゆるものづくりにブレーキをかけ、そこにロシアのウクライナ軍事侵攻により、生産量が世界的に多い小麦、トウモロコシの穀物、天然ガスや石油など、食品や工業製品の原材料生産、流通に支障を生じ、世界的に物価高となっています。

6月定例会は、コロナ対策として、国・県の経済対策と合わせ生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業に市で上乗せ。子ども医療費18歳まで無料化。学校、保育園給食材料費高騰分を市負担とするなど、他国で起きた影響を少しでも軽減する施策が顕著に現れた議会でした。

遠い国で生じたコロナ、軍事侵攻は一般市民にとって

は、ある意味では災害とも言えます。世界の中の日本ですが、今後は身近な範囲で様々な課題を解決できる、より自立と持続可能な地域形成の必要性も考えていきたいと思っています。

議会広報編集委員会

委員長	薬袋 正
副委員長	中沢 美恵
委員	山本 六男 木下 友貴
	田中 輝美 小池 満男